**ＥＳＤＧｓ通信第183号【鈴木敏恵先生の「**ChatGPT・教育についてインタビュー連載記事」の**紹介】　手島利夫**

いつもお世話になっております。

ＥＳＤＧｓ通信第179号では、鈴木敏恵先生の「Chat GTPが教育を変える　AI時代の教育―プロジェクト学習」の動画を皆様に紹介させていただきました。その動画でのお話が面白い（ [https://youtu.be/Up76wc39ctU 約37](https://youtu.be/Up76wc39ctU%20%E7%B4%8437)分）というので、無門会（社会科の研究会）９月例会でもみんなで見させていただき、ＡＩ時代の教育という視点からも学ぼうという話になりました。そこで、私からは鈴木先生のこちらの資料も紹介させていただき、参加者の学びの幅をさらに広げていただくことといたしました。特にこの記事の第3回目までご覧いただくと、Chat GTPにどのように問いかければどのような答えが返ってくるのか、活用への理解をグンと広げていただくことができると思われます。

# 　[鈴木敏恵ポートフォリオ] → ChatGPT・AI時代の教育　 <https://youtu.be/P8U6bM6bkPg>

約69分・・・こちらは一層わかりやすく、時間を忘れて引き込まれ、学びが一層深まります。

■　コクリコ講談社様の「ChatGPT・教育についてインタビュー連載記事」です。

私（手島）には、特に3回目資料「ChatGPTに『看護師になりたい』と対話・質問のコツ」がとても面白く、新鮮に感じられました。

1回目　「ChatGPTの使い方」　教育的メリットとデメリット

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/study/Mm7Kj>

2回目　「ChatGPT」が教育現場にも進出！　子どもが培っておきたい能力とは？

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/study/5uQZA>

3回目　ChatGPTに「看護師になりたい」と対話・質問のコツ

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/study/pQT9Y>

**（以下3回目Chat GTPに「看護師になりたい」と対話・質問のコツより抜粋）　　　　　看護師になりたいわが子にどんな言葉をかけたらよいか**──小学校の高学年や中学生になると、将来どんな仕事に就きたいか、親子で話し合う機会が出てきます。例えば、将来「看護師」になりたいと子どもが言っているとします。親としては、応援するだけでなく、より良い助言もしてあげたいもの。そこで、ChatGPTにアドバイスを求めたいのですが、具体的にはどのように質問をするのでしょう。

# ChatGPTに「子どもが希望する仕事」で対話！　親が身に付けたい「質問のコツ」とは



次世代教育クリエイター・鈴木敏恵さんに聞く、子育て中の親が心得ておきたい「ChatGPTの使い方」具体的な質問から豊かな答えへの導き方　　次世代教育クリエイター:[鈴木 敏恵](https://cocreco.kodansha.co.jp/author/t43kQ)

ChatGPTと対話を深めるためには、どのような質問の仕方をするのがいいのでしょうか？　　写真：アフロ

最終回となる３回目では、実際にChatGPTに質問を投げかけてみました。テーマは「子どもが希望する将来の仕事について」。ChatGPTと対話を深めるためには、どのような聞き方をするのがよいのでしょうか？
質問の仕方のコツと、質問に対して的確な対話を生むための方法を鈴木さんに解説していただきます。

**鈴木敏恵（すずき・としえ）**
次世代教育クリエイター、一級建築士、「シンクタンク未来教育ビジョン」代表。国立大学法人北海道教育大学（教職論）PBL特別講師。「意志ある学び─未来教育」をコンセプトに、プロジェクト学習、ポートフォリオ、対話コーチングなどを融合させた次世代教育の設計思想から実施を全国展開。AI（artificial intelligence）時代の教育、次世代プロジェクト学習の構想・提唱。

**看護師になりたいわが子にどんな言葉をかけたらよいか**──小学校の高学年や中学生になると、将来どんな仕事に就きたいか、親子で話し合う機会が出てきます。例えば、将来「看護師」になりたいと子どもが言っているとします。親としては、応援するだけでなく、より良い助言もしてあげたいもの。そこで、ChatGPTにアドバイスを求めたいのですが、入力する際に気を付けるべき点はありますか。

**鈴木敏恵さん（以下、鈴木さん）：**ただ単に、「どうしたら看護師になれますか」だけでは、おそらく「よりよい助言」のためのアドバイスは得られません。より的確な回答を得るためには、質問の仕方に少しコツがいります。
具体的には、次の**「前提・対象・目的」**の３つが大切になってきます。
では、質問の例をあげて見ていきましょう。

**【質問者】子どもが看護師を目指して学んでいます。この子を愛する親として、どんな言葉をかけたらいいと思いますか？**

**鈴木さん：**「前提」は、「子どもが看護師を目指している」ことをさします。「対象」とは“誰に向けて回答が欲しいのか”ということなので、ここでは「この子を愛する親」への回答となります。そして「目的」は、「子どもにどんな言葉をかけたらいいと思いますか（教えて欲しい）」ということです。
すると、ChatGPTは次のような、役立つアドバイスを回答してくれました。

**【ChatGPT】あなたの子どもが看護師を目指して学んでいることを素晴らしいと思います。彼らの選んだ道に誇りを持ち、次のような言葉をかけてみてはいかがでしょうか？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１．あなたは素晴らしい仕事を選びました。看護師として、多くの人々の命を救うことができるでしょう。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２．私はあなたが自分の情熱と才能を生かしていることを嬉しく思います。あなたの努力と献身は周りの人々に感銘を与えるでしょう。　　　　　　　　　　３．看護師としての役割は大きな責任を伴いますが、私はあなたがそれに向き合う力を持っていると信じています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４．あなたのやさしさと思いやりは、患者さんにとって本当に重要なものです。彼らがあなたのケアを受けることで、安心感と癒やしを得るでしょう。　　　５．道は険しいかもしれませんが、信じて進んでください。あなたの努力と学びの成果が必ず報われる日が来るはずです。　　　　　　　　　　　　　　　　６．私はあなたのサポート者であり、常にあなたの味方です。困難なときでも、私はあなたの傍にいて応援します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７．あなたの夢を追いかける勇気と決意に感銘を受けています。自信をもって進んでください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　８．あなたが看護師として成長していく姿を見るのが楽しみです。どんな困難に直面しても、あなたは乗り越える力を持っています。
以上のような言葉で、あなたの子どもを励まし、彼らの夢を応援してあげてください。**

**【質問者】
ありがとうございます。本人もまだ進路を少し迷っているようです。　　　【ChatGPT】進路に迷うことは自然なことです。あなたの子どもが迷っているときには、次のような言葉をかけてみてください。　　　　　　　　　　　　　　１．迷うことは普通です。大切なのは自分自身と向き合い、自分の心の声に耳を傾けることです。どんな選択をするにせよ、私はあなたをサポートします。　　２．進路を決めるのは難しい決断ですが、一歩一歩進んでいくことで新たな発見や成長の機会が待っています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３．多くの人が進路選択に迷います。迷っている時間は無駄ではありません。自分自身を知るために必要な時間でもあります。　　　　　　　　　　　　　　　４．誰もが最初は迷いながら進んでいくものです。他の人がどのような進路を選んだかにとらわれず、自分自身の興味や情熱に向かって進んでいってください。５．自分の将来を見据えるとき、自分が本当にやりたいことや得意なことにフォーカスして考えてみてください。それがあなたにとっての幸せな道かもしれません。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　６．迷ったり間違えたりすることは自然なことです。進むべき道が見えなくても、経験と学びを積み重ねながら自分自身を成長させることができます。　　７．迷いながらも進むことで、自分自身の強さや柔軟性を発見できるかもしれません。大事なのは諦めずに前に進むことです。　　　　　　　　　　　　　　８．どの道を選ぶにせよ、あなたは素晴らしい才能と資質を持っています。信じて自分の感覚に従って進んでいってください。
彼らが進路を見つけるために時間をかけることは大切です。あなたのサポートと理解を示しながら、彼らが自分自身と向き合い、最良の選択を見つけられるようにしてあげてください。**

**鈴木さん：**続いて、少し質問を変えてみましょう。

（略）

──同じ質問でも、まったく違う結果が出ることに驚きました。指示する文章はとても大事ですね。前者は進学やキャリアについての知識を持っていたため、問いを重ねることで具体的な提案を得られました。一方、後者は夢を実現するための具体案ではなく、「私の家族のような気持ちで私に言葉をかけてください」と指示したため、回答は質問者の気持ちに寄り添った応援メッセージになっていますね。

**鈴木さん：**質問の回数を重ねることで、コツもつかめていくでしょう。回答の精度も日々の技術の進化によって解消されていくと思います。──とにかく使ってみることが大事なんですね。

**鈴木さん：**先生や保護者にとってChatGPTに対する懸念はあるかもしれませんが、そもそも心配する根本的な想いは、「子どもに幸せになってほしい」から、ですよね。
しかし、先生や保護者は、いつまでもその子のそばにはいられません。であれば、自分の頭で考え、科学的に行動できる子に育ってほしい。さらに、その子の持っているものが花開いたらそれは嬉しいことです。
知識や情報を得ることは、聡明になるだけではありません。悪い人に騙されない、身を守る術も身に付きますし、生きることに恐れがなくなります。勉強のためではなく、賢く生きるための学びが必要です。そんなふうに、前向きにChatGPTを活用してほしいですね。───◆─────◆───

未来への不安や恐れをなくすためにも、新しい知識や情報はとても必要なもの。わが子がこれからの人生を賢く生きていくために、親である私たちも、勇気をもって新しいテクノロジーと付き合っていきたいなと思いました。
取材・文／鈴木美和

全文は‥以下をどうぞご覧ください

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/study/pQT9Y>

■　鈴木先生が進行役として進められるＷｅｂ講演会（無料）のご案内

# 10月21日(土)〜22日(日) 未来教育全国大会（オンライン開催）

# ■テーマ：ChatGPT・AI時代‥大人は子どもや若者とどうかかわる？

# ー新たな価値を創造する『学びとキャリアのデザイン』

#  詳しくは以下からご覧ください<https://suzuki-toshie.net/news/3714/>

**[一部紹介]**

**■ 『学校の先生になりたい！』が高まった！教育大学における有効な実践**。

 学生たちが、主体的になるプロジェクト学習の実践モデルを多数紹介。

成功事例：　　<https://www.youtube.com/watch?v=T_ux_25hMCo>

**■ 『大人にも子どもにも役立つ！メンタルヘルス教育』**

子どもたち、保護者、先生、若者たちーすべての方に役立つメンタルヘルスリテラシーの実践プログラムを世界的権威の林医師　<https://youtube.com/clip/UgkxWyqmdYHj7clzY6aZ1sBgjOUv-adGgytb?si=g6l3JtoPAVT0_eMb>　　専門家のみなさんが実践を紹介。

**★小学校で行われた『メンタルヘルス教育プログラム』　(学校通信「原井小だより」)**

<https://suzuki-toshie.net/mm-images/mm714.pdf>

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

鈴木敏惠先生は、「学校や教育をよりよくしたい、未来化したいです。学校の先生を希

望する若者が減少するなどあってはなりません！学校の先生は、価値ある仕事です。特

に、プロジェクト学習などにおいては人間の先生の存在がものを言います。教育は、人間

にしかできないことに注力すべきと思います。」とおっしゃいます。私も大賛成です。Ａ

Ｉ時代の教育を語りながら、そこに先生の存在価値を重視されるお話は，真に的を射てい

ると思います。今回紹介したお話から発想を得て、この国の教育が一層価値あるものに進むよう期待しております。

　今後ともよろしくお願いいたします。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

**「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫**

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　　　　　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方に配信している不定期なメルマガ

で、文科・環境・外務など関係省庁、大学・研究機関等、教員、教育行政、政治家、企業等々一般の方々も含め約1９００名様に配信中です。 contact@esdtejima.com　にメールでご連絡いただければ、登録・及び削除、送信アドレスの変更等をいたします。